

# 光る分子が拓く未来

Keyword

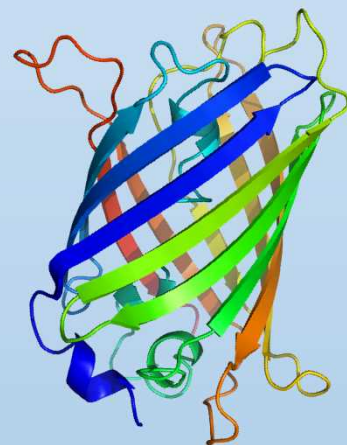
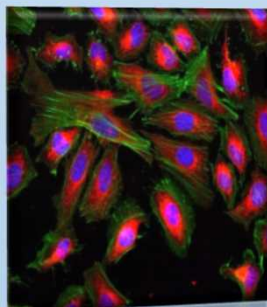
蛍光、有機EL、バイオイメージング、超解像顕微鏡



化学の圧倒的な魅力の一つは、自分で「デザイン」した分子を、世の中に実在する物質として生み出せる点にある。実際にモノを手にしたときの喜び、感動こそが合成化学の醍醐味である。再結晶でキラキラと結晶が生まれてくる姿は人をワクワクさせるし、その物質が強い蛍光を示す分子だったりすると、その光輝く姿はいつまでも飽きずに眺めていたい。そして、それが、新たな技術、新たな分野を拓く鍵になる分子であればどれほど素晴らしいか。本講演では、ディスプレイなどの未来エレクトロニクス技術、さらには生命科学分野の発展に不可欠なバイオイメージング技術を大きく進歩させられる蛍光分子を、いかに創るかについて話をしたい。

講師

山口 茂弘 先生  
名古屋大学大学院  
理学研究科教授



10月17日(土) 14:00~15:30 (16:45)

会場：愛知県立半田高等学校 七中記念館  
(名鉄住吉町駅より徒歩8分)

当日は新型コロナ感染拡大防止に配慮して行います。  
ご来場の際は、マスクの着用にご協力ください。

受付 13:30~  
講演 14:00~15:30  
交流会 15:45~16:45

入場無料